

第二節 魚雷關係艤裝諸施設

魚雷關係艤裝施設トシテ舉示スベキモノハ概ネ左記諸件ナリ

- 一、魚雷附屬具ノ供給裝備
- 二、魚雷發射指揮要具ノ供給裝備
- 三、魚雷發射指揮諸施設
- 四、其ノ他

以下之等ニ就キ略記ス(第四編第四、五章、第六編各章竝ニ別冊參考圖表參照)

第一、魚雷附屬具ノ供給裝備

驅逐艦魚雷關係附屬具ハ三十七、八年戰役時代迄ハ特ニ見ルベキモノナク魚雷裝填臺ノ外戰前漸ク綑切器ヲ供給セル程度ナリシガ大正五年頃ヨリ漸次艦内縱舵機調整臺、深度機調整臺等ノ供給ヲ見、驅逐艦ニ於テモ魚雷整備上相當獨立性ヲ賦與セラルルニ至レリ驅逐艦魚雷關係艤裝ノ一タル魚雷運搬裝填施設ニ就テハ三十七、八年戰役以後ヨリ漸次用兵者側ノ要求ヲ耳ニスルニ至リシモ奈何セシ重量輕減ヲ主トスベキ驅逐艦ニ在リテハ所要魚雷ノ供給格納スラ不充分ナル狀態ニ推移シ之ガ實現極メテ困難ナリシガ現ニ概ネ左記方針ノ下ニ研究ヲ進メツツアリ

驅逐艦ニ於テハ魚雷ヲ發射シ得ル限リノ荒天ニ於テハ常ニ安全確實ニ次發裝填ヲ爲シ得ル施設ノ研究ヲ第一トシ之ガ完成ヲ俟テ急遽裝填ノ研究ヲ行フ方針ナルモ重量、場所及其ノ他艤裝ノ關係上頗ル困難ナル事情ヲ伴フヲ以テ既成艦ニ對シテハ實施不可能ナルモ新計畫ノモノニ對シテハ尙研究ヲ持續ス

第二、魚雷發射指揮要具ノ供給裝備

八八

三等驅逐艦全盛時代英式半圓形方位盤ヲ唯一ノ發射指揮要具トセシ時代ヨリ三十七、八年戰役ノ試練ヲ經テ驅逐艦長(指揮者)用ノ方位盤ヲ要求シ漸次敵針敵速測定具其ノ他發射指揮ニ必要ナル諸要素探出ニ適セル發射指揮盤等ノ要求ヲ生ジ今日アルニ至レリ(第六編第四章參照)

第三、發射指揮諸施設

本項ニ屬スルモノハ發射指揮所、發射發令所測の所、通信裝置、魚雷發射用電路等ナルガ當初ハ前記諸項ト同ジク施設頗ル簡單ニシテ發射指揮ハ何等施設ナキ艦橋ニ於テセラレ發射管直上ニ裝備セル方位盤ニヨリ照準發射セラレタルニ過ギズ

大正五年起工ノ天津風級及桃級ニ於テ漸ク比較的近代の樣式ニ進歩スルニ至レリ即チ本發射電路ノ施設概要ヲ示セバ左ノ如シ

一、本電路ヨリ行ヒ得ル發射ノ種類

獨立發射、齊射、隔時發射

二、管側ニ於テハ當該發射管ノ獨立發射竝ニ當該聯裝一基ノ齊射若クハ隔時發射ヲ施行スルコトヲ得

三、艦橋ニ於テハ二門乃至六門ヲ適宜組合セ齊射及隔時發射ヲ行フコトヲ得

四、齊射及隔時發射ハ各々同一裝置ヲ以テ行フモノニシテ速射電綫ヲ急速ニ回轉セバ齊射トナリ所要間隔ヲ以テセバ隔時發射トナルモノトス

五、齊射又ハ隔時發射ニ際シ魚雷觸衝ヲ防止スル爲艦尾方向發射管ヨリ逐次發射セシム

六、艦橋ヨリ行フ各種發射及管側ニテ行フ齊射竝ニ隔時發射ハ電氣空氣發射若クハ電氣擊發々射ヲ主トシ管側ニテ行フ獨立發射ハ手働擊發々射及手働若クハ電氣空氣發射ヲ主トシ何レノ場合ニ於テモ電氣火藥發射ヲ副トス

七、艦橋若クハ管側ニテ發射セルトキ各發射管ガ果シテ發射サレシヤ否ヤヲ知り得ル機管側ニハ單鳴鐘ヲ艦橋ニハ標示燈及單鳴鐘ヲ裝置ス

八、本電路ニヨリ試験シ得ル重ナルモノ左ノ如シ

(一) 裝磁縮線電路試験 (二) 單鳴鐘及標示燈電路試験 (三) 信管電路試験

爾後訓練實驗ノ進歩ハ漸次之等ノ艦裝施設ノ改善ヲ要求シ其ノ經過ハ前項ニ於テモ其ノ一端ヲ窺知シ得シムルモノアリ大正十年起工ノ一等驅逐艦野風級二等驅逐艦若竹級ヨリ發射指揮所タル艦橋及測の所關係施設ノ改善ヲ見ルニ至リ大正十五年起工ノ吹雪ニ至リテ其ノ面目ヲ一新シ最近水雷戰指揮裝置制式及驅逐艦裝規格ノ改定制定ニ依リ概テ所要ヲ充タシ得ルニ至レリ其ノ細目ニ就テハ既記及後記ノ關係諸條率ニ就キ見ルベシ(驅逐艦裝規格別紙第一參照)

發射指揮關係施設トシテ大正十三年一月驅逐艦ニ魚雷發射艀指示裝置ヲ大正十五年六月味方識別信號燈ヲ各裝備方ヲ開始セルハ本項關係附屬施設トシテ掲記ニ値スルモノナリ

別紙第一

昭和二年三月官房機密第二八一號驅逐艦裝規格內容摘要

第一、包含事項

- 第一章 艦橋裝置
- 第二章 櫓裝置
- 第三章 艦内一般通信裝置
- 第四章 居住設置
- 第五章 諸倉庫及諸筐裝置
- 第六章 諸管裝置
- 第七章 通風裝置
- 第八章 戸口、艀口及同蓋並昇降裝置
- 第九章 天幕裝置
- 第十章 天幕柱並ニ手摺手摺柱等裝置
- 第十一章 揚錨、被曳航曳航及繫留裝置
- 第十二章 「ホーサー」及雜索具類
- 第十三章 艀裝雜具類

第二、艦橋裝置

一、要旨

本規程ハ艦橋、測距所、海圖室、探照燈臺等ニ關スル設備ヲ規定スルモノトス

二、艦橋ノ種類、用途、位置形狀等左ノ如シ

艦橋種類	艦橋用途	大要	艦橋ノ位置及形狀等
上部艦橋	驅逐隊襲撃時ノ隊ノ指揮、射撃指揮、照射指揮及測距ニ適スルモノタルヲ要ス		一、振動防止ニ對シ構造及諸兵器裝備上特ニ注意スルモノトス 二、上部艦橋ハ羅針艦橋直上ニアリテ視界廣濶ニシテ其ノ高サ試運轉吃水線上九米以上、面積十平方米以上タルヲ要ス 三、成ルベク風ノ抵抗ヲ少クスル爲「ストリーム、ライ」型ナルヲ要ス 四、羅針艦橋ハ艦ノ前部ニシテ視界廣濶ナル高所ニアルモノトス
羅針艦橋	艦ノ操縱、水雷戰指揮及艦外信號ニ適スルモノタルヲ要シ休憩室ヲ備フルヲ例トス		
後部舵取所	應急操舵ニ適スルモノタルヲ要ス		機械室上部附近適當ナル位置ニアルモノトス

三、艦橋上ノ配置

上部艦橋及羅針艦橋並ニ後部舵取所ノ裝飾器具及施設ヲ表示スルコト左ノ如シ

上部艦橋	羅針艦橋	後部舵取所
方位測定用從羅針儀(環架附)、 双眼望遠鏡一個(腰掛附)、方位 盤照準裝置、射撃指揮所、測距	原基羅針儀(磁氣)、折疊腰掛、方位測定用從羅針儀(環架 附)、操舵用從羅針儀(保持器附)及操舵輪、海圖臺、速力 通信器及回轉通信器、	

四、其ノ他(後部測距所、探照燈臺及後部見張所、海圖室)等略ス

<p>儀、探照燈管制器、十一年式十六種測距儀、其他傳聲管</p>	<p>發射發令所、艦橋休憩室、魚雷戰用方位盤觀測鏡及從羅針儀等、信號所、日誌臺、下方へ昇降口、上部艦橋へノ梯子、手旗信號臺、信號用探照燈、前部見張所、其ノ他前記以外ノ通信器傳聲管</p>	<p>操舵用從羅針儀、操舵輪舵角指示器 傳聲管(羅針艦橋) 同 (操舵室へ)</p>
----------------------------------	---	--